

年 組 () 名前

サイン



◆日本からいなくなるかもしれないといわれたこともあるアホウドリが18年間で2倍以上に増えていることがわかりました。



アホウドリ すこ しょう ずつ ぞう 加 わだい 増加

日本で絶滅が危惧されていたアホウドリ=写真=の復活です！

アホウドリは、翼を広げると2羽にもなる大きな海鳥です。かつては沖縄県の尖閣諸島・南小島の周辺にたくさんいたのですが、1890年代以降、羽毛をとるために乱獲されて激減し、1949年には絶滅したともいわれました。

ところが環境省が昨年11月に南小島で撮影した衛星画像を分析したところ、つがい(夫婦)が110~140組いることがわかりました。2002年の別の調査では、およそ50組いることが推定されており、この18年間で2倍以上に増

えたことになります。

尖閣諸島は、12年に国の土地になってから、人の立ち入りを制限しています。このため、アホウドリもものびのびと育ち、増えていると考えられています。

【1】アホウドリの数が減っていった理由は何人でしょうか。

【2】アホウドリは何年に絶滅したといわれていましたか。数字を1文字ずつ書きましょう。

--	--	--	--

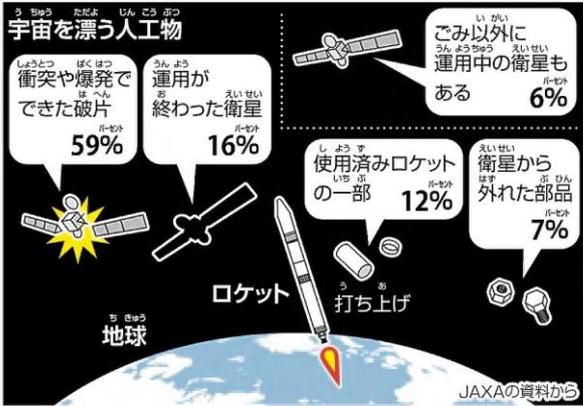
 年

【発展問題】アホウドリ以外にどのような海鳥がいるか調べ、好きな海鳥の絵を裏にかきましよう。

(2021年5月20日
読売KODOMO新聞より)

年 組 () 名前

サイン



人工衛星やロケット破片 増え続ける宇宙ごみ

ISSのロボットアームに衝突

国際宇宙ステーション（ISS）で5月、船外にあるロボットアームに宇宙ごみが衝突し、穴が開く事故が確認されました。最近、増えている宇宙ごみが問題になっています。

カナダ宇宙行によると、5月12日にISSの定期検査をしていたところ、ロボットアームに5ミリほどの小さな穴があるのを発見。穴は宇宙ごみが衝突したためにできたものでした。ロボットアームはISSの修理や、水や食料を運ぶ補給船のドッキングといった作業に使われますが、今回は被害は小さく、予定通りに活動が続けられるそうです。

現在、地球の周辺では、大きさ10センチ以上のものに限っても、2万個以上の宇宙ごみが漂っています。ごみの元となっているのは、故障した人工衛星（「時事ワード6」）や打ち上げ後のロケットの破片です。2009年にはロシアの衛星がアメリカの通信衛星に衝突して粉々になったことで、大量の宇宙ごみが発生し、問題になりました。



速さは弾丸以上 ぶつかると大被害

10秒のごみといっても、ものすごいスピードで地球の周りを回り続けているので、ぶつかるとすさまじい被害が生じます。

宇宙ごみのスピードは秒速7〜8キロ。これは、ピストルから発射される弾丸の速さを上回ります。直径10センチ以上であれば、宇宙船は完全に破壊されてしまうと言われていています。このため、2011年にはISSに接近した宇宙ごみのために、宇宙飛行士が一時避難したこともありました。

宇宙ごみがなかなか消滅しないのも問題です。ISSのある高度400キロほどにあるごみであれば、1年もあれば落ちて大気圏で燃え尽きますが、高度1000キロ以上にあるごみは、地球の周りを100年以上、回り続けると言われていています。

全地球測位システム（GPS）や天気予報など、私たちの生活は人工衛星がなくては成り立ちません。このため、衛星を壊すかもしれない宇宙ごみを減らそうと世界中で研究が進められています。

磁石で回収「お掃除衛星」登場

日本でも、増え続ける宇宙ごみを掃除する取り組みが始まっています。今年3月には、掃除用の人工衛星が、中央アジア・カザフスタンの宇宙基地から打ち上げられました。この人工衛星は東京の宇宙ベンチャー企業「アストロスケール」が開発したもので、機体にとりつけた磁石で宇宙ごみを捕るしかけになっています。ごみを回収した後は、大気圏に突入させて、人工衛星ごと燃やす計画。今回の打ち上げは、その実証実験を行うためのものです。

◆大量の宇宙ごみが問題になっています。（2021年6月10日 読売KODOMO新聞より）

【1】宇宙ごみの元になっているのは、どのようなものですか。また、現在地球の周辺に漂っている大きさ10センチ以上の宇宙ごみは何個以上ありますか。

個以上

【2】大量の宇宙ごみが漂っていることがなぜ問題なのでしょう。

【3】宇宙ごみを減らすために、どのような取り組みが行われていますか。

年 組 () 名前

サイン

◆2020年に生まれた子どもの数は約84万人で、5年連続で過去最少となったことが分かりました。

(2021年6月5日 読売新聞朝刊より)

出生84万人 5年連続最少

20年 人口自然減は最大

出生率1.34

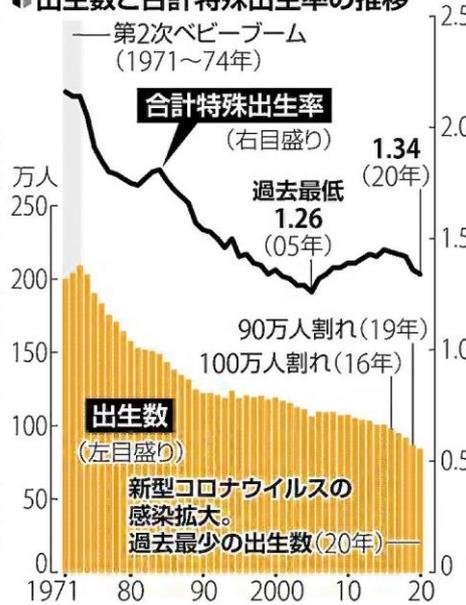
厚生労働省は4日、2020年の人口動態統計(概数)を発表した。生まれた子どもの数(出生数)は84万8322人で、5年連続で過去最少を更新した。1人の女性が生涯に産む子どもの推計人数を示す「合計特殊出生率」も1.34で5年連続で低下した。死亡数から出生数を引いた人口の自然減は、53万1816人となり、過去最大となった。出生数を5歳ごとの母親の年齢別で見ると、45歳以上でわずかに増加したものの、44歳以下のすべての年代で前年より減少した。全体の死亡数は11年ぶりに減り137万2648人だったが、出生数の減少が大きかったことが人口減に拍車を

をかけた。自然減が50万人を超えるのは2年連続だ。「新型コロナウイルス感染症」を原因とした死亡数は3466人だった。一方で、「肺炎」を原因とした死亡数は前年より1万7073人減少した。厚労省はコロナの感染拡大で、マスクの装着や手洗い・うがい

を励行されたことが影響した可能性があるとみている。婚姻件数は、戦後最少で52万5490組。前年は元号が変わったタイミングで結婚する「令和婚」が多かったことから7年ぶりに増加していたが、20年は再び減少に転じた。

△関連記事30面▽

●出生数と合計特殊出生率の推移



今後、さらに少子化が進むことを示唆するデータ

		前年同期比
婚姻数【2020年】	約52万5000組	12%減 ↓
妊娠届【2020年】	約87万2000件	5%減 ↓
出生数(外国人含む)【2021年1~3月・速報】	約19万3000人	9%減 ↓

※厚生労働省の調査を基に作成

【1】「合計特殊出生率」を説明しましょう。

【2】「肺炎」を原因とした死亡数が前年より減少した理由について、厚労省はどうみていますか。

【発展問題】日本ではなぜ、出生数が減っているのでしょうか。あなたの考えを書きましょう。

年 組 () 名前

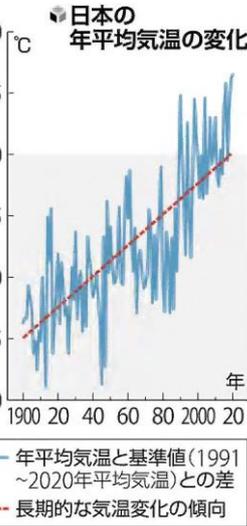
サイン

九州豪雨で氾濫した球磨川。流域の住宅街では甚大な被害が出た。(2020年7月4日、熊本県人吉市で、本社機から)



温暖化 災害級の雨急増

地球温暖化の進行に伴い、国内で災害を引き起こす大雨が増えている。気象庁によると、「1976～85年」と「2011～20年」の各10年間を比べると、1時間に50ミリ以上の「非常に激しい雨」の発生回数は約1.5倍に、同80ミリ以上の「猛烈な雨」は約



1.9倍に増えたという。豪雨災害のリスクは、今後さらに高まる恐れもある。産業革命前(18世紀)からの世界平均気温の上昇幅が4度になった場合、21世紀末には「非常に激しい雨」が20世紀末の約2.3倍に増えると予測されている。

備え まずはハザードマップ

近年の日本では、豪雨災害のリスクを抱える地域の人口が増え続けている。国土交通省の推計によると、河川氾濫で被災する恐れがある「洪水浸水想定区域」の住民は、1995～2015年の間に169万人増え、日本の総人口の28.7%(3651万人)を占めるに至った。この区域の人口割合は今後も増え、50年には総人口の30.5%に達するとの報告もある。

ハザードマップのチェックポイント

- 自宅や周辺地域の浸水危険度
- 避難が可能な複数の経路
- 安全な避難先や移動手段
- 浸水の継続時間や、堤防決壊時に住宅が倒壊・流出する地域

水害への備えとしては、住民自身が自宅のリスクを知ることが第一歩となる。そこで役立つのが、市町村が公表する洪水ハザードマップ(災害予測地図)だ。避難に役立てるには、自宅や周辺地域、避難先がどの程度浸水するかを確認することがポイントになる。浸水域に含まれない場所も安全とはいえない。川の水位が上昇して橋が使えない、「崖崩れで道路が通行止め」などのケースを想像

し、複数の避難経路を用意しておくといい。知人宅やホテルへの移動、在宅避難が選択肢に入る人もいる。片田敏孝・東京大特任教授(災害社会学)は「ハザードマップは、避難のタイミングや避難先を考える際に参考になる。その上で最も重要なのは『己を知る』ことだ。自然災害に立ち向かうには、もし我が家が被災したら、という積極的な姿勢で学ぶ意識を持つことが大切」と訴える。



(2021年6月20日 読売新聞朝刊より)

【1】洪水で自宅が浸水する被害が想定される

のは、国民の何%ですか。

【2】地球の温暖化が進

み、日本には様々な変化が起きています。記事とグラフから読み取れる変化を説明しましょう。

【発展問題】豪雨による被害は、洪水だけではありません。地域のハザードマップを見て自宅周辺の危険を調べ、避難する時にどうすればよいかを考えて、裏に書きましょう。



年 組 () 名前

サイン

Flying squirrel breeding season starts



◆リスの仲間では北海道に生息するエゾモモンガが、春の繁殖期を迎えました。

(2021年4月1日
The Japan Newsより)

The Yomiuri Shimbun
Ezo momonga
flying squirrels in
Obihiro,
Hokkaido, on
March 20

OBIHIRO, Hokkaido -- Ezo momonga flying squirrels in Hokkaido are currently beginning their spring breeding season, with active courtship behavior seen in trees in the city of Obihiro.

On a pine tree in a park in the city on March 20, two flying squirrels, a male and a female, fiercely chased each other and then stayed on a branch seemingly staring at each other.

The flying squirrel is about 15 centimeters long and nests in spots such as burrows once used by wild birds. They jump from tree to tree between sunset and dawn. They breed during the day in early spring and early summer, according to Obihiro Zoo in the city.

【1】Breeding Seasonを漢字3文字で訳しましょう。

--	--	--

【2】エゾモモンガを英語で書きましょう。

()

【3】エゾモモンガはどのような場所に巣をつくりませんか。日本語で書きましょう。

()

squirrels: リス、breeding: 繁殖の、currently: 現在、active: 活発に、courtship: 求愛、behavior: 行い、行為、ふるまい、male: 雄、男性、female: 雌、女性、fiercely: 激しく、chase: 追う、追跡する、each other: お互いに、seemingly: 一見、表面は、外見は、staring at ~: ~をじっと見る、nest: 巣をつくる、burrow: 穴、sunset: 日没、dawn: 夜明け、according to ~: ~によると